

課題

これはある先生の日本史の授業の録音記録です。これを歴史を説明する叙述文にしてください。(叙述文として必要のない先生の言葉はカットしてください。)

例

17世紀の日本はすごく大きい変化があったんです。きょうはそれについて話しましょう。

→ 17世紀の日本は非常に大きい変化があった。

江戸時代

16世紀の日本はですね、…何と言うか、ええ〜と、今の県のようにばらばらに分かれていて、それぞれの土地と人民を大名*、そう、大きい名前と書くんですけど、その大名が支配していました。大名たちは自分の力をもっと広げようとしてね、お互いに戦いを繰り返していました。

1600年、ちょうど1600年ですけど、全国の大名たちが大きく二つに分かれて戦ったんです。この戦いで徳川家康という大名が、徳川家康、みなさん、この名前を聞いたことがありますか。この徳川家康が、ですね、戦いで勝って、最も強い大名としてその後全国を支配するようになりました。彼は江戸に、…江戸というのは今の東京ですけど、ええと…、その江戸に政府を置いて政治を行いました。これが江戸時代の始まりです。江戸時代はね、約260年間、長〜いですね、260年間も続いたんです。

その当時の政府はね…、あのう…キリスト教が日本に広がるのを恐れていたんですね。それで、外国との交流を禁止したんです。オランダと中国だけは例外でしたけどね。外国の船が日本の港に入るのもだめ、日本人が外国に行くのもだめ。この状態がなんと200年以上続いたんですよ。信じられますか。200年ですよ。

あとは来週の授業で話します。

*大名 Japanese feudal lord 诸侯、領主 영주

正しい構造の文

携帯電話の便利な点はどこでも電話がかけられる。

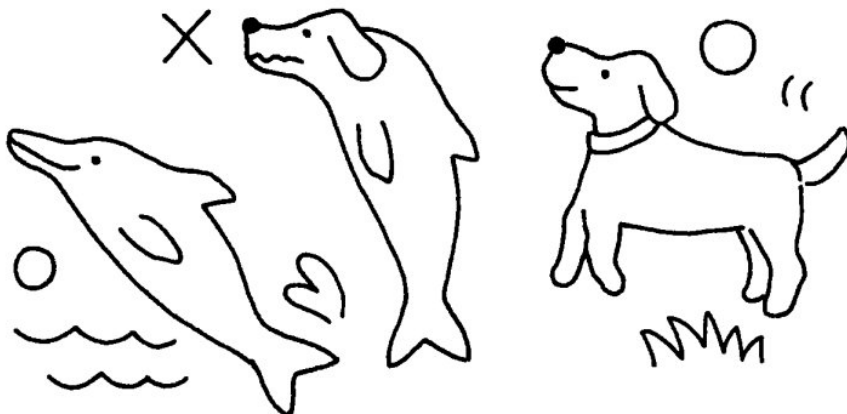
この文は正しい構造の文ではありません。では、どう直せばいいでしょうか。

携帯電話の便利な点はどこでも電話がかけられることだ。

このような間違いの文は小論文では特に避けなければなりません。話しているときは、思いついたことを次々に口にしてしまうので、構造が正しくないこともあります。正しくなくても意味は通じますから、話し手も聞き手もお互いにあまり気にしません。しかし、文章を書くときにはよく気をつけなければなりません。

この課の
学習
ポイント

- ・主語と述語の関係を正しく書く。
- ・修飾する言葉とされる言葉との関係を正しく書く。
- ・簡潔な文を書く。



ポイント
1

主語と述語の関係

正しい構造の文は主部と述部が正しい関係になっています。

A (主部) は / が B (述部) 。

AとBの関係が正しく合わなければなりません。

× 山に登る ^{のぼ} は 楽しい。

○ 山に登ること は 楽しい。

× 彼の趣味 ^{かれ しゅみ} は 山に登ることが好きだ。

○ 彼の趣味 は 山に登ることだ。

○ 彼 は 山に登ることが好きだ。

× 著者がこの本で言いたいこと ^{ちよしゃ} は 人生はやり直し ^{じんせい なお} ができる。

○ 著者がこの本で言いたいこと は 人生はやり直しができるということだ。

日本語の文は主語と述語の関係が次の四つの型に分類されます。

	主語		述語	例
a	何 めいし 名詞	は / が	何だ。 名詞	<ul style="list-style-type: none"> わたしの 趣味 は <u>釣りだ</u>。 たばこの 火 が 火事の <u>原因</u> である。 ここ は <u>昔、小さい村だった</u>。
b	何 名詞	は / が	どんなだ。 けいようし ナ形容詞 イ形容詞	<ul style="list-style-type: none"> この 箱 は <u>丈夫だ</u>。 部屋の 温度 が <u>高い</u>。 試験 は <u>あまり難しくなかった</u>。

c	何 めいし 名詞	は／が	どうする。 どうし 動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="text"/> が <u>降る</u>。 ・ <input type="text"/> スポーツ大会 は <u>終わった</u>。 ・ <input type="text"/> 田中先生 は 今、本を<u>読んで</u>いる。
d	何 名詞	は／が	ある／いる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ この論文には <input type="text"/> <u>問題点</u> が <u>ある</u>。 ・ 今月は <input type="text"/> <u>お金</u> が <u>ない</u>。 ・ うちには <input type="text"/> <u>犬</u> が 3匹<u>いる</u>。

4

正しい構造の文

練習 1-1

次の文の主語を で囲み、述語に下線を引きなさい。主語と述語の関係は上の表の a～d のどの型ですか。() の中に記号を書きなさい。(主語が表れていない文もあります。)

例 田中先生の日本語の 授業 はあしたで終わりだ。(a)

1. 机の上に世界地図がある。()
2. 地図で見ると、日本はアジア大陸の東にある島国である。()
3. この島国に1億人以上の人々がいる。()
4. 今年、8月の平均気温はいつもの年より高かった。()
5. 山地の面積は日本全体の約70%だ。()
6. 本州の中央部には高い山がいくつもある。()
7. たくさんある山々の中で富士山が最も高い。()
8. 日本の地形は複雑である。()
9. 日本の気候は日本人の暮らしに大きい影響を与えている。()
10. このビデオでは日本人の暮らしについて紹介している。()

練習 1 - 2

正しい構造の文を作るにはどちらがいいですか。

1. 携帯電話は $\left[\begin{array}{l} \text{a 普通の電話より料金が低い。} \\ \text{b 普通の電話より料金が低いことだ。} \end{array} \right]$
2. $\left[\begin{array}{l} \text{a データが不十分は} \\ \text{b データが不十分なことは} \end{array} \right]$ よくない。
3. 田中先生の授業は $\left[\begin{array}{l} \text{a 説明がわかりやすい。} \\ \text{b 説明のわかりやすさだ。} \end{array} \right]$
4. 彼の長所は $\left[\begin{array}{l} \text{a 人間関係を大切にする。} \\ \text{b 人間関係を大切にすることだ。} \end{array} \right]$
5. わたしが心配しているのは今後子ども専門の病院が $\left[\begin{array}{l} \text{a 減るだろうと思う。} \\ \text{b 減るだろうということである。} \end{array} \right]$
6. いちばんはっきりしていることは、 $\left[\begin{array}{l} \text{a 塩分の取りすぎは体によくないということだ。} \\ \text{b 塩分の取りすぎは体によくない。} \end{array} \right]$

練習 1 - 3

文の意味が大体同じになるように _____ の上に言葉を書いて正しい構造の文を完成しなさい。

例 わたしはビデオを見ている時間が好きだ。

→わたしが 好きな のは ビデオを見ている時間 である。

1. 昨年、工学部のヤンさんがデザイン賞をもらった。
→昨年.....のは工学部のヤンさんである。
2. このバス路線は昼間の本数が少ないので不便だ。
→このバス路線の.....点は.....だ。
3. 78%の人がバスの本数を増やしてほしいと回答した。
→.....人は.....だった。
4. 今朝、踏み切りで事故があったので、電車が遅れた。
→今朝電車が.....のは.....だ。
5. 火事の原因はたばこの火の消し忘れである。
→.....が原因で火事になったのだ。
6. きょうの授業である学生が先生に難しい質問をした。
→きょうの授業で学生の中に.....人がいた。
7. わたしは少子化は今後大問題になると予想している。
→わたしの予想では.....。
8. わたしは将来子どものための図書館を作りたい。
→わたしの夢は.....である。
9. わたしは歩くことが健康の基本だと思っているので、エスカレーターやエレベーターにはあまり乗らない。
→なぜわたしが.....というと、
.....である。
10. わたしはこのスピーチで高齢者のことをもっと考えてほしいと言いたかったのだ。
→わたしがこのスピーチで言いたかったことは.....である。